新聞北陸本社2020　（日刊）
北陸中日新聞
中日新聞北陸本社
金沢市駅西本町2丁目12番30号
〒920-8573　電話 076(261)3111
2020年（令和2年）
10月13日
火曜日・仏滅

津幡高生飼育の蚕が順調に成長

津幡高校（津幡町）で飼育している約六千匹の蚕が、順調に成長している。総合学科園芸系列の二年生三十人が世話をしており、九日も授業で、学校の敷地内で栽培している桑を採取して蚕に与え、観察した。

九月十一日に飼育を開始し、アリぐらいの大きさしかなかった蚕は七～八㌢までになっている。沢井杏華さんは「この間、授業が始まってから桑をやったら授業が終わる五分前にはもうなくなっていた。めっちゃ食べる。成長が早く、びっくりしている」と、この一カ月の変貌ぶりを振り返った。

園芸部が飼育している蚕は既に繭を作っており、残りの大部分の蚕も近く繭を作る見込み。繭の活用については未定だが、沢井さんは「繭糸からハンカチなどを作れたら」と話していた。（島崎勝弘）

順調に育っている蚕＝津幡高で

第45846号　【日刊】
北國新聞
夕刊
2020年（令和2年）
10月16日（金）
発行所
北國新聞社
〒920-8588
金沢市南町2番1号
番号案内(076)263-2111
富山本社　番号案内(076)491-8111
〒930-8520 富山市大手町5番1号
©北國新聞社　2020年
http://www.hokkoku.co.jp/

津幡高で繭収穫
復活プロジェクト

養蚕復活プロジェクトに取り組む津幡高園芸系列の2年生24人は16日、繭の収穫作業に取り組んだ。生徒は繭を一つ一つ手に取って手作業でけば立ちを取り除き、質量を測った。

同校では9月11日から約4千匹の蚕を育てており、10～13日に繭ができた。収穫された繭は今後、乾燥か冷凍される。大丸孝斉（たかなり）教諭（36）は「蚕が順調に成長した。繭を活用し、生徒の思い出になるものを作りたい」と話した。

繭の収穫作業に取り組む生徒＝16日午前10時、津幡高

北（24）+
石川北
第45847号　【日刊】
北國新聞
2020年（令和2年）
10月17日（土）
発行所
北國新聞社
〒920-8588
金沢市南町2番1号
番号案内(076)263-2111
富山本社　番号案内(076)491-8111
〒930-8520 富山市大手町5番1号
©北國新聞社　2020年
http://www.hokkoku.co.jp/

育てた蚕 無事に繭に
津幡高で収穫

今年度から授業で養蚕に挑戦している津幡高園芸系列の2年生24人は16日、仕上げ作業となる繭の収穫に励んだ＝写真。約1カ月間飼育した蚕は無事に繭となり、生徒が一つ一つ丁寧に繭のけば立ちを取り除いた。

同校は4年後に迎える創立100周年に向けて養蚕から丈夫で長い糸が特徴の「太平長安」と、鮮やかな黄緑色で美容品に活用される「緑繭（りょっけん）2号」をそれぞれ約2千匹飼育した。

指導する大丸孝斉（たかなり）教諭（36）によると、蚕は順調に成長し、10～13日に繭をつくった。生徒は土日も交代で蚕の世話に訪れ、餌となる桑の葉を与えてきた。谷乙華（おとか）さん（17）は「繭の手触りがふわふわで気持ちいい。マスクを作りたい」と笑顔を見せた。

蚕や飼育に必要な資材の購入には、国際ソロプチミスト金沢からの寄付の一部を活用した。今後、生徒は繭を乾燥か冷凍し、具体的な活用法を考える。